

母子健康なんでも相談 ある日の栄養クリニック

八代保健所にて

妊産婦の栄養や赤ちゃんの離乳食の相談、あるいは成人病看護や農夫症など、細かく指導する「栄養クリニック」がいま好評を呼んでいる。「栄養クリニック」は各保健所ごとに設けられており、最近では相談でおとずれる人も多くなってきている。



▲女医さんの活躍—赤ちゃんの健康診断。



▲きょうは離乳食の相談。保育状況をカードに記入。



▲「まあ、ずいぶん重くなったわね」ニコニコ顔のママ。



▲離乳期の赤ちゃんは特に食事の配慮が大切…いちばん多いのが栄養相談。



身近かな
食生活の問題を
もう一度考えよう。

▶主婦たちのグループで、栄養料理の勉強。そういった活動の場でもあり、クリニックはいつも活気にみちている。

婦人活動の “小さな歯車”

★天草郡有明町上津浦
長尾静子さん

ひと口に婦人会の活動と言っても、地域によってその活動の形もいろいろと特色がある。都市と違って、農村ではふだんの集まりとなると、そう簡単にはいかない。もともと、忙しい農村では、地域集会やサークル活動などには縁が薄かったものだが、昨今では、生活意識の向上もさることながら、農家経営の合理化などにより、農村婦人の社会活動もかなり、やりやすくなってきている。事実、よき指導者を得て、着実な活動を見せている地区も多くみられるようになった。天草郡有明町における婦人会の活動もその一例。

開花した栄養改善

長尾静子さん四十八歳。有明町上津浦婦人会長を兼ねながら、現在はその上部組織である有明部の会長さん。すでに十二年のキャリアがある。初めて合った時の感じは、実に物静かな主婦のタイプ。だがその話ぶりや、生活意見にふれていくうちに「正確さ」とか「誠実さ」を感じさせる。「初め婦人会長に推された時には戸惑いましたが、どうしてもと勧められて、ちや一年間だけ勉強させてもらってから……」と言う具合に着任

の姿勢から伺えるものは、慎重さというより強い責任感である。ところで、婦人会活動の実際だが、婦人の力で参加できる社会的運動への参加協力、例えば各種募金運動、老人福祉のための奉仕から住民検診の呼びかけなどいろいろだが、それらの実践活動を通して、長尾さんが実感として受け止めているものは「婦人のささやかな活動も、社会を明るくする確かな小さな歯車」であること。と同時に長尾さんは、婦人会の活動が、さらに基本的に生活の中で役に立ち、身近かな問題として展開してゆけたらという期待も湧いてくるのである。そしてその願いが健康づくりを進める主婦の活動としてようやく開花したのである。

多忙な、会長さんの位置

四年前に開設された、有明町の栄養教室は、これまでの婦人会活動に新たな刺激を与えた。そして同年に行なわれた国民栄養調査の結果、対象地区の有明町上津浦では脂肪、カルシウム、ビタミン不足が目され、主婦たちの栄養問題への関心は急激に高まっていった。四十二年には文部省委嘱婦人学級に指定され、昨年から健康を守る婦人会の会として栄養教室を再び開設することになった。

このようにして、盛りあがってきた活動の中で、長尾さんの周辺もあわただしくなってきた。役場の厚生課とタイアップして会場や材料の交渉、栄養士や生活改良普及員との連絡調整、受講生の選定など毎月一回の学習だからその世話もたいへん。「なにしろ役員の方たちがすぐ熱心に協力していただくので運営はスムーズに行っている」ということ。それにしてもこれまでの「上意下達」式では末端まで効果が生きてこないことを痛感

し、長尾さんは努めて体を動かすことにしている。農繁期に欲しい保存食(魚粉やタタキこん布でつくったフリカケ)を、役員たちと一緒に作り、会員みんなに配給した時は心から喜んで貰えた。

“人柄”に集まる協力者

「栄養価のバランスということは、今の食生活にも手近かにありましたよね。例えば油でいためたキンピラ、ホウレン草のごまあえ、昔の人たちの間で自然と生まれた知恵でしょうかね」長尾さんは、婦人会の人たちとよく語り合う。目下、麦ご飯の摂取と病人食のつくり方に重点をおいているが学習熱は旺盛だ。ところで長尾さんたちの「小さな歯車」は、さる三月、町の厚生課からかねて相談があったいた、老人家庭のホームヘルパー制度に全員一致で協力を申し出た。婦人会の活動が地域の福祉活動に参加することは珍らしいケースだが、それというのも地道な学習活動あつての所産なのである。

「とにかく几帳面で、徹底して世話の届く人。それでいて活動のポイントをいつも明確にしてゆく



得がたい指導者」とは役場厚生課の評。長尾さんの家へはよく人が集まる。長尾さんは決してでやばり屋ではない。にじみでる人柄が周囲の人びとを引きつけるらしい。「小さな歯車」それは、和やかで、結束力のある婦人活動の中の長尾さんなのかも知れない。

—近所の人と語り合う長尾さん(左)—